

研究実施のお知らせ

2024年1月29日 ver.1.1

研究課題名

膵がんの予後因子に関する後ろ向き研究

研究の対象となる方

2012年4月から2023年5月までの間に病理組織診断により膵がんと診断された方

研究の目的・意義

膵がんは治療薬の進歩に関わらず5年生存率は8%台と低く、最も予後の悪いがんの一つです。膵がんの多くが進行した状態で見つかるため、抗がん剤治療による治療が必要になることがほとんどですが、1年以上通院で治療できている方があれば、数か月で亡くなる方もあります。膵がんの早期診断を目指して危険因子や前駆症状、間接的な画像所見の探索が行われていますが、どの因子が予後に関連しているか明らかになっていません。以上の背景から今回の研究を計画することとしました。

この研究により膵がん発症時の情報をもとに予後予測が可能になり、迅速な治療が期待できます。

研究の方法

利用する診療情報の項目：以下の項目を取得します。

- 1) 年齢、性別
- 2) 発症から医療機関初診までの期間
- 3) 初診時症状（体重減少、黄疸、急性膵炎、糖尿病増悪、がん性疼痛など）
- 4) 膵癌家族歴
- 5) 基礎疾患（慢性膵炎、肝硬変、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、COPD）
- 6) 血液検査結果（血清AMY、CA19-9、CEA、HbA1c、空腹時血糖値、アルブミン）
- 7) 画像検査所見（超音波内視鏡、内視鏡的逆行性膵管胆管造影、CT、MRI）
- 8) 病理組織診断
- 9) 手術歴、手術術式
- 10) 抗がん剤治療歴、投与レジメン

- 11) 医療機関初診日
- 12) 死亡年月日または打ち切り日

研究の期間

2023年7月27日～2025年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院消化器内科 福庭暢彦

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年1月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院消化器内科 福庭暢彦

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2190 FAX 0853-20-2189